

平成24年 3月15日

足立区立足立入谷小学校

校長 田中 雅宏 様

足立区立足立入谷小学校 開かれた学校づくり協議会

会長 桑原 征紀

平成23年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

平成23年度の自己評価書は、学校が今年どのように教育に取り組み、どれくらいの成果を出し、どんな課題が残っているかがよく書かれていました。

足立入谷小学校の子どもたちを見ていると、落ち着いた学校生活を送り、明るく楽しそうに生き生きと活動できているのが何よりです。これには、先生方の温かくも厳しい指導と、PTAをはじめとした保護者、そして地域の方々の協力のお陰と感謝いたします。

学力向上では、単元テストでは到達度70%以上の子が、国語では87.4%、算数では83.8%となっており、たいへんよかったです。しかし、まだ15%程度の子が到達度70%以下という現状と、区学力調査正答率では昨年度比、国語は0.7上昇したものの、算数は2.8下降ということで、さらに基礎学力を向上させるように先生方にごんばっていただきたいです。

また、読書活動については目標値を達成できなかったもので、全ての学習の基礎となる国語力を向上させるためにも、豊かな心を育成するためにも、さらに力を入れていってほしいです。そのためには、先生方の努力とともに図書ボランティアさんにもより一層ご活躍いただき、子どもたちがいつでも読みかけの本を持ち、少しでも時間がある時には読書ができるような状況をつくること等により、読書活動も目標値を達成し、より活性化できるようにしていただきたいです。

さらに、子どもたちが落ち着いた学校生活を送り、自他ともに尊重し合うことができるようになっていたので、地域の特色でもある農業体験学習や保育園・高齢者施設との交流等は継続し、思いやりをはじめ豊かな心をより育成していただきたいです。また、学校の特色である和太鼓クラブや区の各種スポーツ大会への参加等も継続していただき、子どもたちがさらに自信と誇りをもって自己肯定感を高めていけるようにしていただきたいです。

本年度は足立入谷小学校創立10周年記念事業の年ということで何かとたいへんだったことと思います。先生方に一生懸命ごんばっていただき、PTAや本協議会・地域の方々の協力によって記念式典・祝賀会をはじめとした記念事業が成功裡に終了できました。新しい歴史を刻む足立入谷小学校の子どもたちが知・徳・体の調和のとれたよりよい成長ができるように、10周年記念事業で深めた学校と家庭・地域との絆を基盤とし、学校・家庭・地域の三位一体で子どもを育てていただきたい。

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- 挨拶がよくできている、子どもが落ち着いている等、来校者からの評判が高いことは、嬉しい限りです。
- 協議会には、先生方も毎回出席していただき、先生方から子どもたちの様子を聞くことができ、感謝しています。
- 本校と地域との活動・連携は活発です。10周年記念事業で深めた学校と家庭・地域との絆を基盤とし、学校・家庭・地域の三位一体で子どもを育てていきたいと思っています。
- 確かな学力と体力を子どもたちに身に付けてもらいたいです。外遊びの時間を確保する点や異年齢で過ごすことによる思いやりの心を育成する等の点からも、放課後子ども教室「スマイル」に参加させ、子どもたちを校庭で思う存分遊ばせたいです。「スマイル」のスタッフさんには、今後ご協力をお願いいたします。
- 家庭で読書をする習慣をぜひつけてほしいと願っています。

3. その他

- 足立入谷小学校は、校内の整理、清掃がよく行き届いており、清潔で安全です。しかし、施設面では、冷房を特別教室等にも設置してほしいと願っています。
- 先生方が常に親身になって相談に乗ってくださっているので、保護者は感謝しています。
- 今年度も、年間を通してうがい・手洗い・換気の取り組み等により、近隣校では学級閉鎖もありましたが、インフルエンザの流行がなかったことに感謝しています。
- 子どもたちが落ち着いた学校生活を送り、笑顔が輝く学校をめざし、学校公開時の参観や授業診断・学校評価などを通して適切な情報交換を図り、学校・家庭・地域の三位一体で、よりよい学校づくりを図っていきたくと考えています。
- 学校選択制のためか、2年間1年生が単学級となりました。子どもが落ち着いて、生き生きと活動しているので、全学年2学級編制ができることを願っています。